

藤原ストックヤードの土砂受入盛土・土砂搬出計画における施工計画について
設計時施工技術検討会の結果について

1 目的

藤原ストックヤード（以下、「藤原SY」という）は、公共工事で発生した残土を有効活用するための場所として、現在、森林法の林地開発の同意を得て工事を実施している。

本業務では、林地開発の完了後、藤原SYにおいて、建設発生土を場内に受け入れ盛土の工事を行うことから、盛土の施工計画検討及び一定程度の盛土完成後に土砂の搬出を行うための盛土掘削の搬出施工計画等について検討を行うものである。

2 藤原SYの概要

(1) 施設概要

藤原SY A=11.26ha（ストックヤードA=10.94ha・工事用道路0.32ha）

A工区 受入土量：V≒33,000m³

延長L=約200m 最大盛土高H=約23m 盛土幅W=14~70m程度

利用形態：JH常磐自動車道整備時の残土処理場跡地

現況地形：沢地形で左右岸とも急峻な地形となっている

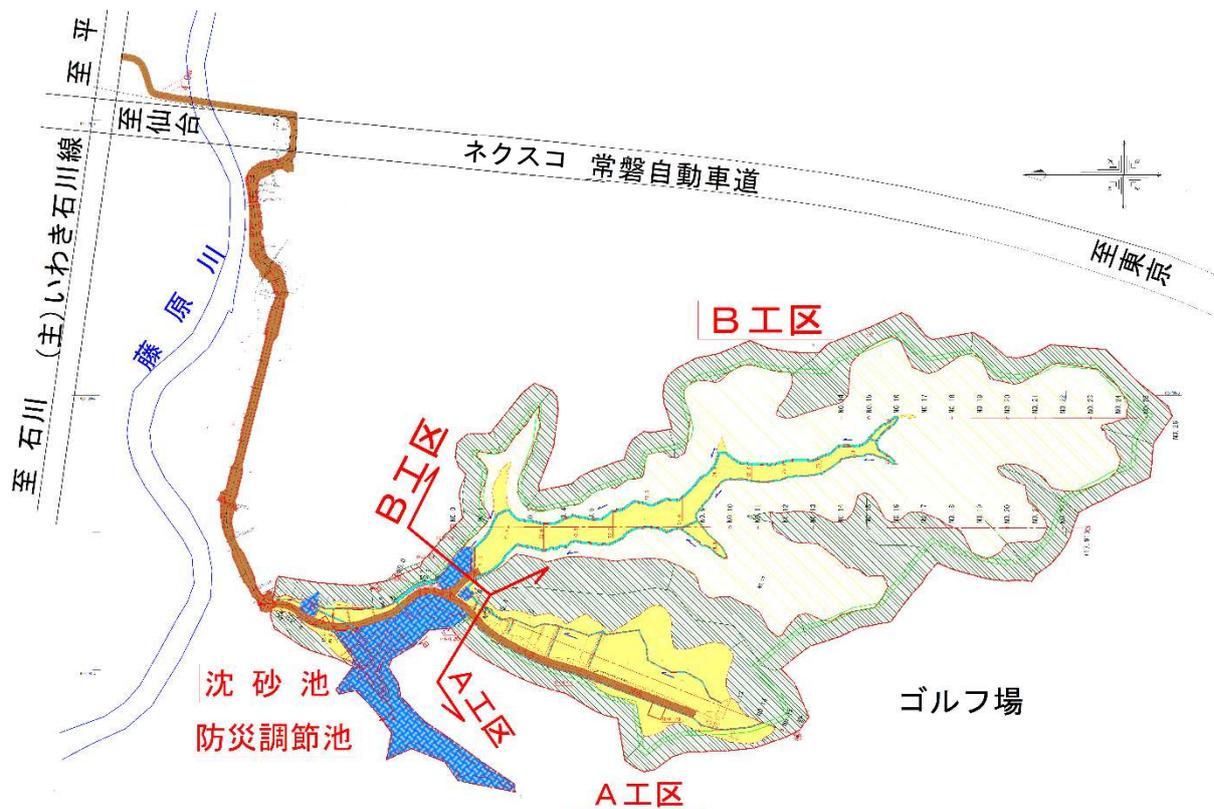
B工区 受入土量V≒639,000m³

延長L=約450m 最大盛土高H=約50m 盛土幅W=10~170m程度

利用形態：山林で未開拓地

現況地形：急峻なV字沢地形となっており、底部には岩が露出している部分が見受けられる

森林法完了時平面模式図



(2) 事業フロー



3 設計時施工技術検討会について

検討会は2回行い、意見等については別紙資料によりまとめた。

第1回検討会 令和4年12月22日

第2回検討会 令和5年2月20日